

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

| | | | | |
|-------------------------|--|-----------|--------|---|
| | 記入日 平成 27 年 2 月 19 日 | | | |
| 所属学部・研究科 | 文学研究科 1年次 (留学開始時点) | | | |
| 留学先大学 | ネバダ大学リノ校 (国名: アメリカ) | | | |
| 所属学部・学科等名 | IELC | | | |
| 在籍身分 | 交換留学生 | | | |
| 留学期間 | 平成 26 年 8 月 21 日 ~ 平成 27 年 12 月 12 日 | | | |
| 1. 渡航について | | | | |
| ビザについて | ビザの種類: F1 | | | |
| | ビザ申請先: アメリカ大使館 (大阪) | | | |
| | 取得方法, 提出書類: Web 上でビザの申請をし(DS - 160)、面接の予約をする。 提出書類: パスポート、DS-160 の確認ページ、写真、面接予約のページのコピー、I - 20、残高証明書、成績証明書、SEVIS の支払い確認ページ | | | |
| | 手続きに要した日数: 1ヶ月程度 | | | |
| その他必要な事前手続き | | | | |
| 出国年月日 | 平成 26 年 8 月 15 日 | | | |
| 経路 | 広島→成田→サンフランシスコ→リノ | | | |
| 現地での出迎え | <input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・ その他) <input type="checkbox"/> 無 | | | |
| 到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容 | 2日間の留学生向けもの (安全管理、健康管理、銀行口座の開設、学生証の発行、学内サービス、イベント、クラスを振り分けるためのテスト、キャンパスツアー) | | | |
| 帰国年月日 | 平成 27 年 1 月 16 日 | | | |
| 経路 | リノ→サンフランシスコ→成田→広島 | | | |
| 2. 留学経費について | | | | |
| 所要経費 | 総額 | 744,980 | 円 | |
| | 内訳 | 渡航費 | 298000 | 円 |
| | | 保険料 | 66980 | 円 |
| | | 教科書代(学費) | 20000 | 円 |
| | | 宿舍費 | 160000 | 円 |
| | | 食費 | 85000 | 円 |
| | | その他 (雑費) | 100000 | 円 |
| (旅行費) | 150000 | 円 | | |
| (費) | | 円 | | |
| 3. 授業について | | | | |
| 26 年 秋学期 | 8 月 21 日 ~ | 12 月 12 日 | | |

| | |
|-------------------------------|---|
| 年 学期 | 月 日 ~ 月 日 |
| 年 学期 | 月 日 ~ 月 日 |
| 年 学期 | 月 日 ~ 月 日 |
| 授業の概要について (カリキュラム, プログラム等) | IELC での Reading/Writing と Listening/Speaking、Integrated |
| 単位互換希望の有無 | <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること |
| 学術面に関する後輩へのアドバイス | 1 学期のみでもアカデミックの授業を聴講した方がいいと思います。 |
| 4. 生活等について | |
| (1) 留学先の住居について | |
| 住居の種類 | <input type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 () |
| 住居の広さ | 約 140 m ² 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (8 人) <input type="checkbox"/> 無 |
| 住居に附属する設備 | <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input type="checkbox"/> 水洗便所 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 () |
| 住居費 | 1ヶ月当たり \$39.00 (現地通貨) 約 42000 円 |
| 住居を決定した方法 | <input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input checked="" type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 () |
| 留学先での住居全般に関するアドバイス | 大学付近には危険な地域もあるため, 事前に住む場所の位置を確認した方がいいと思います。 |
| (2) 医療について | |
| 1 日以上入院を要する病気・怪我等を | <input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった |
| 入院した場合 | により 日入院 |
| 留学に当たり保険を | <input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった |
| 掛けた場合 | <input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 () |
| 掛け金は | 年間 (6ヶ月) 66980 円 補償額 死亡 10,000,000 円, 入院1日 円 その他 () |
| 留学前後での予防接種の必要の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| 有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名 | 学校の保険センターで Mumps と血液検査を受けました。MMR のうち MR を日本で受けてきたことを告げ, 母子手帳を英訳して提出するよう求められました。 |

| | | |
|---|--|------|
| 日常的な健康について不安が | <input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由： | |
| 留学先国の医療事情（日本と比較して） | 保健センターが充実しているので、風邪や怪我などの場合はまず学内の保健センターに行くことをお勧めします。 | |
| 留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと | 向こうでも保険に入ることを要求されるので、日本で入ってきたことを伝え、日本の保険の英文証明書を見せて、大学の保険には加入しないという Web 申請をする必要があった。 | |
| (3) 危険を感じた地域、状況 | | |
| 夜のダウンタウンは刺激的な分、危ない人も多い印象を受けました。 | | |
| (4) その他生活等に関して参考となる事項 | | |
| 自炊の場合買い物が必要となると思いますが、スーパーは少し離れたところにあるので、車で連れて行ってもらう必要があります。（恐らくバスもあったと思います）また、日本食の調味料はアジアンショップで買うことができます。 | | |
| 5. 帰国後の進路について | | |
| 卒業予定年月 | 平成 28 年 3 月 （当初の卒業予定年月 平成 28 年 3 月） | |
| 卒業が遅れる見込みの場合、その理由 | <input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他（具体的に) | |
| 現在の状況および今後の予定・進路等 | もう一年大学院で研究をし、一般企業へ就職する。 | |
| 就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫 | 11月にボストンであったキャリアフォーラムに参加し、就職活動の準備を始めた。 | |
| 6. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等 | | |
| 書籍、サイト名 | 詳細（出版社、URL等） | コメント |
| | | |
| | | |
| 7. 自由記述（後輩へのアドバイス等） | | |
| 先にも書きましたが、保険の重複、予防接種、奨学金のことなど、Casher's office や USAC office ではたらいまわしにされました。また IELC でも細かいことはわかっていない事のほうが多いので、聞いてみた上で回答が曖昧な時は OISS に行くが一番手っ取り早いと思います。 | | |

HUSA (USAC)学習の概要に関するレポート

私が参加した USAC プログラムでは、University Of Nevada Reno の中にある IELC (Intensive English Language Center)で Reading, Writing, Listening, Speaking の4つのスキルを伸ばすための学習プログラムが組まれています。

全ての授業は朝月曜日から金曜日まで毎日だいたい 8:00~12:00 で、午後からは授業はありません。金曜日以外は3コマ構成で、1コマに Integrated class 2コマに Reading/Writing、3コマに Listening/Speaking という形態でした。

それぞれのクラスでの授業について。まず Integrated class では4つか5つの授業の中から、興味のある授業を選択して受講することができました。また1セメスター中に4つの授業をとることができます。Business のクラスや Volunteer の授業が特に人気でした。私は映画、Nevada の歴史、アメリカの地理、アメリカの価値観 (American Value) の授業をとっていましたが、日本とは違う歴史解釈や価値観を客観的に学べたので楽しかったです。この Integrated の授業内ではプレゼンテーションの課題がよく出されました。聞く人がわかりやすくするための工夫、目線、話す順番など、英語だけでなく、基本的なプレゼンテーションのスキルを学ぶことができました。全ての出題された課題はフィードバックをくれるので、次どのように改善したらいいかを知る事ができました。

次に、Reading/Writing のクラスについて。12、3人の少人数クラスで、アカデミックのための Reading/Writing スキルを身に付けるという印象でした。2週間に一度、エッセイやレポートの課題が出され、First draft, Second draft, 最後に Final draft といったように、こちらフィードバックをもらいながら自分の英作文を改善していきました。授業中は、スキルの解説がほとんどで、課題で実践する形でした。Reading も同じで、授業中にスキルの解説、小テスト、フィードバックがメインでした。Reading の課題は主に教科書と小説で、1週間に50ページから100ページ、最終的には200ページ呼んでくる課題が出され、それについてのテストが行われました。

最後に Listening/Speaking のクラスについて。こちらは、先ほど述べた Reading/Writing とは異なり、授業内で Listening やコミュニケーションの練習をしました。Listening は教科書に沿ってノートテイキングや大切なポイントを聞き逃さないようにする訓練を受けました。Speaking に関しては、授業中に少し会話をするくらいで、あとは実生活で使ってみようというのが基本的な考えでした。またノートテイキングの方法や練習を、授業後にワークショップという形で希望者のみに指導をしてくれました。

全体を通して、欧米や南米から来た学生と一緒にアカデミック用の英語を学習することができるのが USAC の利点だと思います。フィードバックが頻繁にあるので自分の実力を常に把握しながら学習できたと思います。一方で、ネイティブの学生とは授業外でしか知り合うことが出来ません。実践的なコミュニケーションを学ぶためにサークルに参加したり、個人的に会う機会を作ったりする必要がありました。また、1セメスターだけでも積極的に授業聴講をすればよかったと感じています。

生活の概要

生活の概要について、①下宿について②気候について③治安について報告し、最後に日常生活について書こうと思います。

まず私はアメリカ人の家族の家でハウスシェアという形で下宿していました。前年度リノに行かれた方からインターナショナルハウスの存在を聞いて直接連絡をとり、代表者の人に紹介してもらいました。住人は私、同じく広島大学から一緒に行った女の子、中国人の家族（父・母・娘）、中国人の学生、アメリカ人の家族（父・母・娘）で、みんな本当にいい人たちばかりだったので楽しく共同生活を送りました。毎週水曜日にはごはんを用意してくれており、みんな集まってご飯を食べる日でした。（私は参加できない日が多々ありましたが...）それ以外の日はキッチンを自由に使うことが出来たので、自炊していました。シャワーは1階と2階にあり、こちらも共有でいつでも使うことが出来ました。学校からは歩いて20分～25分と少々遠かったですが、朝はホームメイトの子と登校し、帰りはキャンパスエスコートという家までの送迎サービスを使うことができるので、不便は感じませんでした。住人みんなでハイキングに行ったり、イベントを行ったりと、本当に楽しく仲が良かったので家族のようでした。

次に気候について。リノに到着した8月中旬は、本当に暑く日差しも強かったです。しかし9月の中旬頃から夜は冷え込むようになります。リノは地形のせいか、昼間はそこまで寒くない日が多くても朝夜はとても冷えます。今年は雪がほとんど降らなかったのですが、登下校で困ることはありませんでしたが、厚手のコートはあったほうがいいと思います。一方で雨はほとんど降りませんでした。恐らく年間を通して空気がとても乾燥しています。行った当初からだが慣れるまで、特に唇が荒れて大変でした。

さらに治安について。リノは留学生も多くダウンタウンや危険な場所に行かない限りは、比較的治安のいいところだと思います。ただ、私が滞在していた半年の間でも付近で発砲事件が2～3件起きたので、危機意識は常に持つべきだなと感じました。カジノやバー、レストランの多くあるダウンタウンは大学から歩いて15分程度で行けるので便利ですが、大学周辺と違い、危なそうな人や場所が多かったので一人では行かないことをお勧めします。

そして生活全般について。平日は授業後図書館で課題をする、友達と会う、たまにクラブのミーティングに行く、たまーにジムに行くのが基本的な生活リズムでした。私は効率がいいタイプでは無いので、午後からゆっくり課題をして途中違うことをして、また課題に戻っていました。図書館はとても広く、平日夜中の1時まで開いているので大変便利でした。

最後にネバダ大学は（特に IELC は）日本人が多い学校だと思いました。その分苦労も多くなると思いますが、キャンパスエーションパートナーやクラブ、メンタープログラム等を利用して納得のいく留學生活をおくってください。

留学中の写真

